

千葉県こてはし学校給食センター再整備(改築)事業

審査講評

平成27年1月30日

千葉県PFI事業等審査委員会

千葉県PFI事業等審査委員会は、千葉県こてはし学校給食センター再整備（改築）事業に関して、落札者決定基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

平成 27 年 1 月 30 日

千葉県PFI事業等審査委員会
委員長 根本 祐 二

1 審査体制等

学識経験者等の外部委員で構成する千葉市PFI事業等審査委員会（以下「審査委員会」という。）が、落札者決定基準に基づき入札参加者から提出された入札書類の審査を行い、最優秀提案者を選定した。

審査委員会の構成は、次に示すとおりである。

委員長	根本 祐二	東洋大学 経済学部教授/PPP 研究センター長
委員 (職務代理)	杉崎 幸子	公益財団法人千葉県栄養士会理事
委員	柳澤 要	千葉大学大学院 工学研究科教授

2 審査委員会の開催経過

審査委員会は計3回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

審査委員会	開催日	主な議題
第1回	平成26年 5月19日	委員長及び委員長職務代理者の選任、事業概要及び実施方針等について
第2回	平成26年 7月17日	特定事業の選定、入札説明書等について
第3回	平成26年12月 2日	応募者ヒアリング、加点項目審査、最優秀提案者の選定

3 審査結果

(1) 競争参加資格確認審査(第一次審査)

下記の2グループから入札参加表明書及び入札参加資格申請書類の提出があり、千葉市は、審査の結果、いずれのグループについても入札参加者が備えるべき競争参加資格要件（入札説明書に規定されている要件）を満たしていることを確認した。

その後、ニッコクトラストグループから入札辞退届が提出された。

グループ名
ニッコクトラストグループ
東洋食品グループ

※五十音順

(2) 提案内容審査(第二次審査)

ア 入札書・提案資料の確認及び入札金額の適格審査

下記グループから入札書・提案資料が提出され、必要書類を満たしていること、及び入札書に記載された入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。

グループ名	グループ構成	
東洋食品 グループ	代表企業	(株)東洋食品
	構成企業	鹿島建設(株)千葉営業所 伊藤忠アーバンコミュニティ(株) タニコー(株)千葉営業所 NEC キャピタルソリューション(株)
	協力企業	(株)INA 新建築研究所

イ 必須項目審査

上記グループの提案内容が、市が必須とする項目（必須項目）を充足し、「要求水準を満たすための基本的能力を有する」ことを確認した。

ウ 加点項目審査

上記グループの提案内容のうち、千葉市が特に重視する項目（加点項目）で、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて、以下に示す判断基準により性能点を付与した。

なお、入札参加グループの構成員の実名及び入札価格は伏せて審査を行った。

評価	判断基準	得点化方法
A	各審査項目に関して特に優れている	各項目の配点×1.00
B	AとCとの中間程度	各項目の配点×0.75
C	各審査項目に関して優れている	各項目の配点×0.50
D	CとEとの中間程度	各項目の配点×0.25
E	要求水準を満たす程度	各項目の配点×0.00

加点項目審査の結果は、以下のとおりである。

評価項目		配点	東洋食品グループ 得点
①事業計画に関する事項		10	8.00
事業計画	事業実施体制等	3	3.00
	資金調達・返済計画	2	2.00
	リスク管理	2	1.50
	地域経済	3	1.50
②施設整備に関する事項		18	13.50
設計	配置計画・外部計画	6	4.50
	内部計画		
	デザイン	2	1.50
建設	施工計画	3	2.25
共通	地球環境・ライフサイクルコストへの配慮	6	4.50
	開業準備	1	0.75
③維持管理に関する事項		7	5.25
維持管理	修繕計画	4	3.00
	エネルギーマネジメント	3	2.25

④運営に関する事項		25	15.25
給食調理	魅力ある給食の提供	4	2.00
	安全衛生	5	3.75
配送・回収		3	1.50
廃棄物処理		5	3.75
衛生管理		5	2.50
献立作成・食材調達支援		2	1.00
将来への対応		1	0.75
合計		60	42.00

エ 入札価格の得点化

入札価格について、以下に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{価格点} = 40 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{当該入札価格})$$

	東洋食品グループ
入札価格 (円)	6,890,675,000
価格点	40.00

※上記金額に物価変動による増減額及び消費税を加算した額の範囲内

(3) 総合評価

審査委員会は、次表のとおり総合評価点を算定し、東洋食品グループを最優秀提案者として選定した。

(総合評価点の算定結果)

	東洋食品グループ
性能点	42.00
価格点	40.00
総合評価点	82.00
順位	1

4 審査講評

(1) 個別講評

① 事業計画に関する事項

「事業実施体制等」については、多くの実績を持つ企業がグループを組成していることや、第三者モニタリングによる衛生管理指導体制に関する提案等が評価された。

「資金調達・返済計画」については、金融機関や劣後融資レンダーから融資確約書を入手していることや、十分な耐性のある資金収支計画に関する提案等が評価された。

「リスク管理」については、構成企業・協力企業間でリスク分担表を作成、合意済みであることや、交代企業の確保に関する提案等が評価された。

「地域経済」については、地域住民の雇用や既存給食センター職員の再雇用、地元企業の活用に関する提案等が評価された。

② 施設整備に関する事項

「設計」については、構内道路の動線及び車両の出入りへの配慮や、要求水準を上回る衛生管理及び作業環境を確保する提案等が評価された。

「デザイン」については、植栽や緑化フェンス、景観形成を意識したオープンスペース等による周辺環境との調和に配慮した提案等が評価された。

「施工計画」については、既存擁壁に配慮した施工方法の採用、安全教育に関する提案等が評価された。

「地球環境・ライフサイクルコストへの配慮」については、維持管理コスト抑制や省資源を図る具体的な提案等が評価された。

「開業準備」については、開業当初における配置人員の増加や、経験豊富な人材の優先配置に関する提案等が評価された。

③ 維持管理に関する事項

「修繕計画」については、建物定期点検や建物総合診断による劣化・不具合の早期発見体制に関する提案等が評価された。

「エネルギーマネジメント」については、光熱水使用量の見える化対応システムの導入や、光熱水費削減に向けた維持管理計画の策定に関する提案等が評価された。

④ 運営に関する事項

「魅力ある給食の提供」については、残滓の計量、給食に係るアンケートの実施、各学校との意見交換等による喫食率改善に向けた具体的な提案等が評価された。

「安全衛生」については、事例データに基づく工程別危害分析や異物混入時の対応策に関する提案等が評価された。

「配送・回収」については、配送車両運行状況の一元管理や、配送員の安全運転及び衛生管理に関する教育等が評価された。

「廃棄物処理」については、生ごみの全量リサイクルやバックアップ体制に関する提案等が評価された。

「衛生管理」については、衛生指導や衛生検査に関する具体的な提案等が評価された。

「献立作成・食材調達支援」については、献立の試作への積極的協力や情報提供に関する提案等が評価された。

「将来への対応」については、コンテナや消毒方式を既存給食センターと合わせることで、配送校変更等が発生した場合にも円滑な対応を可能とする提案等が評価された。

(2) 総評

審査委員会は、落札者決定基準に基づき、公正かつ慎重に審査を行い、東洋食品グループを最優秀提案者として選定した。

当初は、2グループから入札参加表明があり、その後、入札書・提案資料の提出は1グループとなったが、本事業に対して、多くの企業に関心を持って頂いたことに対して、感謝申し上げます。また、入札公告から入札までの期間が、約2か月半と限られた期間であったにも関わらず、創意工夫を凝らしたご提案を頂き、その熱意とご尽力に、敬意を払うものである。

本事業では、安全で衛生的な施設の整備・運営、自然エネルギーの有効活用や廃棄物の減量化・再資源化に配慮した環境にやさしい施設の整備・運営、ライフサイクルコストに配慮した施設の整備・運営、周辺環境に配慮した施設の整備・運営を基本理念とした学校給食センターを整備するため、従来の同種PFI事業の要求水準に比べ、より高いレベルの提案内容を求めた。

その結果、最優秀提案者からは、各項目について、これまでのPFI事業や給食センター等の豊富な実績に基づく、具体的かつ実行性のある提案がなされた。

最優秀提案者においては、今後の長期間にわたる事業実施にあたり、千葉市と良好なパートナーシップを図り、質の高い給食の提供を行うとともに、より良い事業の実現に向けて提案内容を着実に実行していただくことを期待する。